



当連盟は、今年で18回目を迎えた全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006」（会期：平成18年10月5日（木）～10月9日（月・祝））に参加致しました。この催しは、文部科学省と地方自治体が毎年共催で行っているもので、今回は「まなびこそ 輝くあなたの 第一歩」をキャッチフレーズに掲げ、茨城県を舞台に生涯学習に関する幅広い展示や発表などが開催されました。

メイン会場となった笠松運動公園の生涯学習見本市には、生涯学習に携わる団体や企業が多彩な学習情報を展示。多くの来場者が生涯学習に触れる場となりました。当連盟は、カラオケ体験コーナーを設置し「歌って心身ともに健康に！カラオケは文化、そして生涯学習」を広くアピールしました。

また、会期初日の5日、既にカラオケを生涯学習として楽しんでいる方に発表の場を提供する「まなびピアいばらきカラオケ大会」を参加事業として茨城県立県民文化センターで実施致しました。

（3ページに詳細記事掲載）

第18回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピアいばらき2006」で 生涯学習の場としての カラオケ施設利用の促進を提案！

カラオケ使用者連盟では、今年で18回目を迎える全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006」に参加。数多くの来場者に歌う場を提供するとともに、カラオケを生涯学習として提案いたしました。

カラオケ体験コーナーは大盛況!!



当連盟は平成11年度開催の「まなびピア広島99」から「まなびピアいばらき2006」まで8年に渡り、全国生涯学習フェスティバルに参加しております。そして、毎年開催される催しにカラオケ体験コーナーを設置し、当連盟のテーマである「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進」を来場される方々にアピールしています。催しの目玉である生涯学習見本市に設置するカラオケの体験コーナーには、

最新機器をずらり設置。毎回大勢の来場者にその機能を体感いただき、実際にマイクを握ってもらっています。

今回の、「まなびピアいばらき2006」でも、笠松運動公園体育館に設けられた見本市会場に最新鋭カラオケ機を置き、10月5日から9日までの会期中、自由に体験いただきました。体験コーナー前は連日、子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方々の人だかりが絶えず、ミニステージの様

相です。まだ小さなお子さんがハモリを見せ周囲を驚かす場面があったり、年配のご夫婦が楽しそうにデュエットしたりと、思い思いの歌声を響かせていました。

また、電子目次本を手を選曲する人々からは「こんな検索ができるんだ」、「カラオケ以外にもこんな遊びができるんだ」などと、驚きの声も絶えず、最新機器ならではの付加価値機能を体験する絶好の場となりました。



カラオケ使用者連盟は音楽著作権法を尊重し、その普及・啓蒙活動を行っています

カラオケを店舗で利用する際は、JASRAC（社団法人日本音楽著作権協会）へ許諾を得る必要があります。

当連盟では、音楽著作権法を尊重し、カラオケを利用する全ての店舗に対し、普及・啓蒙することを活動の一つとしております。そして具体的な活動として、未だ許諾契約を締結していない店舗や、契約を締結されてはいるものの、音楽著

作物使用料の支払いを滞納している店舗に対し、未契約及び使用料滞納の解消を促しています。

会員各位におかれましても、自店はもとより、同業他店に対しても未契約及び使用料滞納の解消を促進いただきますようお願い申し上げます。

まなびピアいばらき カラオケ大会

「まなびピアいばらきカラオケ大会」 盛大に開催!!

当連盟では、本生涯学習フェスティバルの参加事業として、「まなびピアいばらきカラオケ大会」を10月9日(月)、茨城県立県民文化センター「小ホール」を会場に開催しました。これは、既にカラオケを生涯学習として楽しんでいる方々に成果発表の場を提供しようという意図で実施したものです。

当日は、選拔者による決勝大会とも言えるもので、予選会やテープ応募の関門をくぐり抜けたいづれ劣らぬ90名が一堂に結集。午後1時から約5時間にわたって熱い熱戦を繰り広げました。様々な年齢層によく知られた歌から最近のヒット曲など幅広い選曲や練習を積み2人で息を合わせたデュエット、ソックリさん、そして舞踏を交えた演技など、見ごたえたっぷりのステージに、会場を埋めた観衆からは始終、大きな拍手と声援が贈られていました。

途中、水田かおりさん、静太郎さんのLIVEショーもあり、お二人の歌声が観衆を魅了しました。

厳正な審査の結果、栄えある「茨城県知事賞」は、「ヤングラセ」を歌った小野瀬 喜美代さんに決定。涙交じりのフィナーレを飾る熱唱に、ひと際大きな拍手が贈られる中、熱い一日の幕を下ろしました。



知事賞・小野瀬さん



教育長賞・宮田さん



理事長賞・高橋さん



最優秀歌唱賞・柴崎さん



歌唱賞・白石さん



敢闘賞・秋本さん



熱演賞・青木さん



努力賞・三浦さん

日 時：平成18年10月9日(月)

会 場：茨城県立県民文化センター「小ホール」

主 催：カラオケ使用者連盟

審査委員(敬称略)

鈴木 武夫(カラオケ使用者連盟 常務理事)

梶田 正宏(徳間ジャパン制作1部 プロデューサー)

津軽 けんじ(作曲家)

長山 たかのり(作詞家)

「まなびピアいばらきカラオケ大会」入賞者(敬称略)

各 賞	入賞者	歌唱曲
茨城県知事賞	小野瀬 喜美代	「ヤングラセ」
茨城県教育委員会教育長賞	宮田 吉男	「吉野川」
カラオケ使用者連盟理事長賞	高橋 美智子	「人形」
最優秀歌唱賞	柴崎 誠一	「冬の宿」
歌 唱 賞	白石 實	「孫」
敢 闘 賞	秋本 朱美	「コエヲキカセテ」
熱 演 賞	青木 勇一	「男と女の破片」
努 力 賞	三浦 茂樹	「藤勝歌」



水田かおり

静太郎

フリーダイヤルをご利用下さい。

お店の移転・閉店など当連盟への連絡はこれまで、会員皆様より**03-3495-5695**へお電話頂いております。
この度フリーダイヤルを設けましたので、通話料無料のフリーダイヤルをご利用下さい。
尚、携帯電話・PHSからのご連絡は、これまで通り**03-3495-5695**をご利用下さい。

経営者変更・移転・閉店など、
各種ご連絡は右記連絡先へ



0120-56-4056

携帯電話・PHSからは **03-3495-5695**

カラオケ使用者連盟では、音楽著作物使用料の滞納防止を呼びかけています。

カラオケを利用する店舗が支払っている音楽著作物使用料は、JASRACによって楽曲の権利者（作詞・作曲家等）へ分配され、新しい作品づくりの糧となっています。

当連盟では、カラオケを利用する全ての店舗に、音楽著作物使用

料の未払いや、滞納の防止を呼びかけています。

会員各位におかれましても、自店はもとより、同業他店に対しても使用料の支払いや滞納解消を呼びかけ、促進いただきますようご協力お願い致します。

子どもを見守る活動インターネットで公開 カラオケ使用者連盟は、文部科学省が啓蒙・推進する 「子どもを見守る活動」に賛同します。

文部科学省では、全国各地において実施されている「地域で子どもを見守る」活動についてインターネットで検索・閲覧できるシステム『子ども見守りナビ（地域で子どもを見守る全国ネットワークシステム）』を平成19年1月5日に公開することになりました。

■背景・経緯

子どもを巡る痛ましい事件が多発したことを受け、全国各地において実施されている子どもを見守る活動についてインターネットで検索・閲覧できるシステム（地域で子どもを見守る全国ネットワークシステム）の構築が予算措置されました。このシステムは、全国の様々な活動をより活性化させることを目的としています。

文部科学省では、これまで、都道府県・市区町村への活動事例の調査や文献等による調査及びインターネットによる公募により、活動事例を収集してまいりましたが、この度、システムの公開によって、活動事例を提供することになりました。

■システムに掲載される活動事例

- ・ 平成18年度内に約500件を予定
（約500件の事例のうち、活動の効果や継続性等の観点から特色のある50事例については、選定事例として更に詳細に紹介。）
- ・ 平成19年度も活動事例の追加・更新を実施予定
- ・ 収集された事例の傾向として、取組主体としては、「ボランティア団体」や「自治会・町内会」が、活動区分については、「地域パトロール・挨拶運動」や「安全に関する情報の共有化」が多く寄せられました。

※ 掲載される事例は、各地域の実情に応じて実施されているものです。

■画面イメージ（予定）



<http://www.mimamoru.jp>

お問い合わせ先
生涯学習政策局（学習情報政策担当）
電話：03-6734-3263（直通）
03-5253-4111（代表）（内線2660）